

2025年5月23日

北総鉄道株式会社

代表取締役会長 室谷正裕 様

代表取締役社長 持永秀毅 様

CC 県知事、北総線沿線6市長、京成電鉄社長

北総線の運賃値下げを実現する会
共同代表(涉外担当) 太田 誠

北総鉄道株主総会でのご説明のお願い

日頃から、北総線利便性向上にお心配りいただきありがとうございます。

面談の機会をいただけた様お願いしておりましたが、近々は難しいとのことでしたので、内容はやや異なりますが、文書にてお願いすることと致しました。

さて2022年10月1日発効の「運賃値下げ」と「千葉ニュータウン鉄道との間の線路使用料契約の変更」についてです。

運賃値下げは、御社主導の値下げは初めてのことでもあり、特に子育て世代からは通学定期が1/3に値下げされ、高く評価されています。御社の大英断でした。

又後者は、これまで、不合理と批判を浴びながらも漫然と継続されてきた制度を変更されたものとうかがっており、その内容に期待しておりましたが、詳しい内容がつまびらかにされておりません。

北総線の運賃値下げは大歓迎ですが、今尚普通運賃は京成本線の2倍であり、「大幅運賃値下げ」は依然、利用者住民の切実な願いです。高運賃の抜本的改善には、北総線の成田国際空港アクセスに果たしている役割からして、国や県の支援は不可欠ですが、現在の仕組みの下でも、親会社京成との線路使用料や諸負担の合理的見直しにより、大幅な改善が可能と考えております。

さしあたっての総会では、下記の点につきご説明いただけますと幸いです。

記

- 「千葉ニュータウン鉄道との線路使用料契約」の変更内容を詳しくご説明ください。
- 契約変更後、千葉ニュータウン鉄道区間を共用する京成電鉄との関係が、施設維持費用などの負担が不公正になっていないことをお示し下さい。(従来は北総鉄道だけが施設の保守を担っていましたが、その点は今も変わっていないようですが?)
- 京成電鉄が北総鉄道の線路を利用するにあたり、「線路や電路の保守費用」や「使用電力料」の分担は適正になされているのでしょうか。ご説明ください。

以上